

平成 28 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



平成 29 年 4 月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成 18 年 4 月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化いたしました。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業等の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業等の皆さまのより一層のお役にたてるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は 4,605 名の皆さまにアンケートを依頼し、2,206 名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業等の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 奥村次徳

目 次

1.調査概要	1
1.1.調査目的	1
1.2.調査対象	1
1.3.調査方法	1
1.4.調査内容（調査用紙の項目）	1
1.5.回収結果	1
2.調査結果.....	2
2.1.都産技研利用のきっかけ	2
2.2.情報提供について.....	3
2.3.都産技研の利用実態について	4
(1) 技術相談.....	5
(2) 依頼試験.....	9
(3) 機器利用.....	13
(4) 講習会・技術セミナー	17
(5) オーダーメイド開発支援	21
【事業の比較まとめ】	25
2.4.都産技研の利用による経済効果について	26
2.5.今後の利用意向及び要望について	30
2.6.参入予定分野・利用予定事業（サービス）について	33
3.総括.....	34
3.1.利用者からのご意見・ご要望	34
3.2.ご意見をもとに改善した例について	35
参考資料	36

1.調査概要

1.1.調査目的

都産技研の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法の改善等に必要データを取得するために実施した。

1.2.調査対象

平成28年1月4日から平成28年12月28日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報利用に同意頂いた方4,605名を対象とした(但し、宛先不明などを除いた有効送付数は4,561名)。

1.3.調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者に配布。オンライン回答も実施した。

回収方法：記入した調査用紙を郵送、ファックス、またオンラインにて回収した。

期 間：平成29年2月13日から平成29年3月13日まで

※途中、督促はがき及び督促電話を実施

1.4.調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけ
- (2) 情報提供について
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用目的、目的達成度、具体的な成果、職員の対応、経済効果 など
- (4) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用希望サービス、参入予定分野など
- (5) 業種について

1.5.回収結果

2,206名の方から回答を頂いた。(回収率：48.4%)

2.調査結果

2.1.都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ホームページ」、「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が高い。また、「その他」の回答が181件あるが、そのうち、「以前から利用」との回答が、68件と多くなっている。

都産技研利用のきっかけ

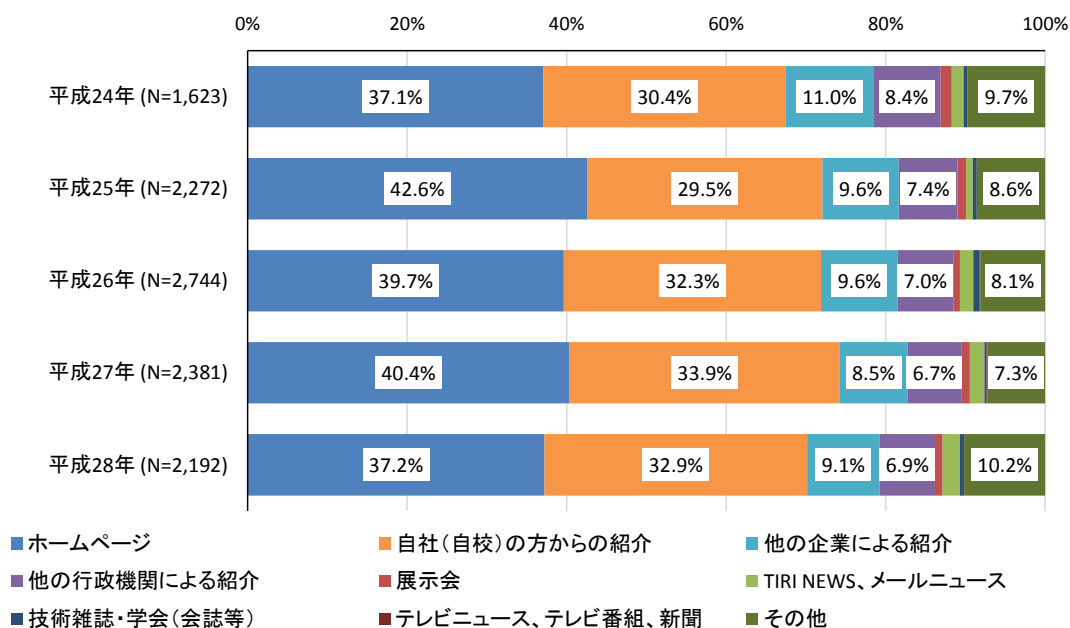
回 答	件数	割合
ホームページ	816	37.2%
自社(自校)の方からの紹介	722	32.9%
他の企業による紹介	199	9.1%
他の行政機関による紹介	152	6.9%
施設公開等の都産技研開催イベント	42	1.9%
メールニュース	36	1.6%
展示会	21	1.0%
NEWS	12	0.5%
技術雑誌・学会(会誌等)	8	0.4%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	3	0.1%
その他	181	8.3%
合計	2,192	100.0%

[その他の主な内容]

- ・以前から利用（68件）
- ・知人・社内等からの紹介（54件）
- ・以前から知っていた（13件）
- ・インターネット等で自分で探した（8件）

経年推移をみても、大きな傾向の差はない。昨年（平成27年）の結果と比べると、若干ではあるが、「ホームページ」の回答割合が減少、「他の企業による紹介」、「他の行政機関による紹介」の回答割合が増加している。

都産技研利用のきっかけ



2.2.情報提供について

都産技研のホームページやメールニュースに対しては、280件のコメントを頂いた。

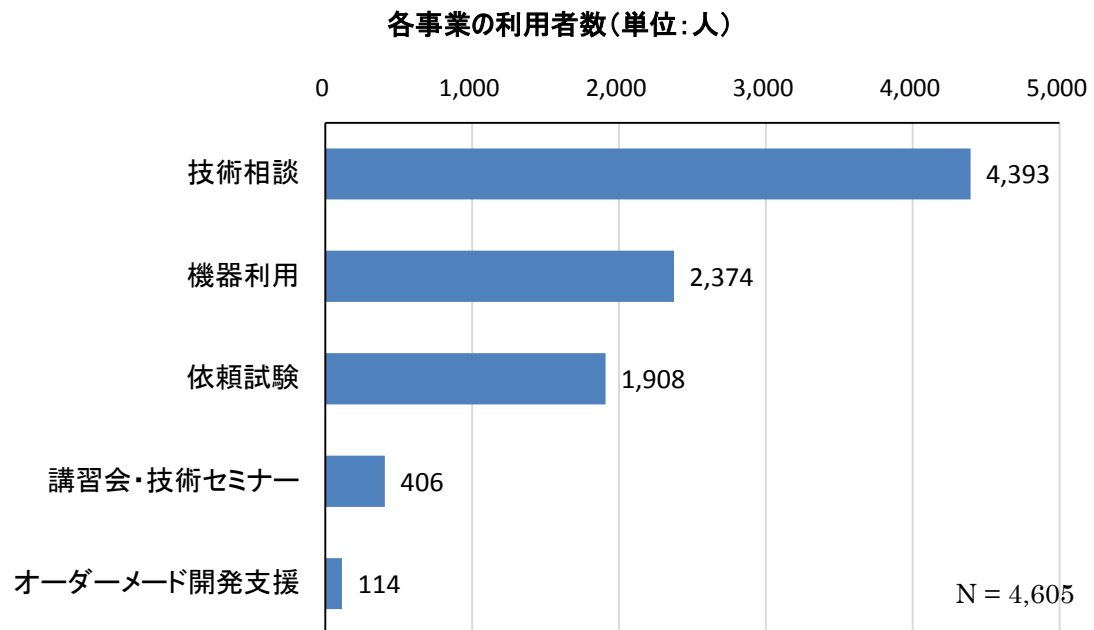
内容としては、ホームページについては、「リニューアル後に見やすくなった/使いやすくなった」という意見が多い一方、機器の仕様に関する情報や利用の際の料金の見つけにくさなどが指摘された。また、メールニュースについては、情報量の多さによる必要な情報の見つけにくさや、興味をひくようなコラムの必要性などが指摘された。

情報提供についての要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- ホームページがリニューアルされた結果、全体的に使いやすく、見やすくなったと感じる。
- ホームページについて、機器利用の機器詳細と金額が併記されておらず使いにくさを感じる。
- 試験機器については仕様別などの検索ができればより良い。
- 装置の予約を検討した際、空き状況と予約が別々のページに分けれているため使いにくかった。
- メールニュースについて、情報量が多いため、興味があるニュースを見つけ出すのが困難である。
- メールニュースについて、特定のテーマに沿ったコラム・技術情報なども掲載して頂くと勉強になる。
- 技術セミナーの情報発信についてはもう少し詳細情報が確認できた方が良いのではないかな。

2.3.都産技研の利用実態について

本アンケートの対象者である 4,605 名が平成 28 年に利用した都産技研事業の内訳は、「技術相談」が 4,393 名、「機器利用」が 2,374 名、「依頼試験」が 1,908 名「講習会・技術セミナー」が 406 名、「オーダーメイド開発支援」が 114 名であった。



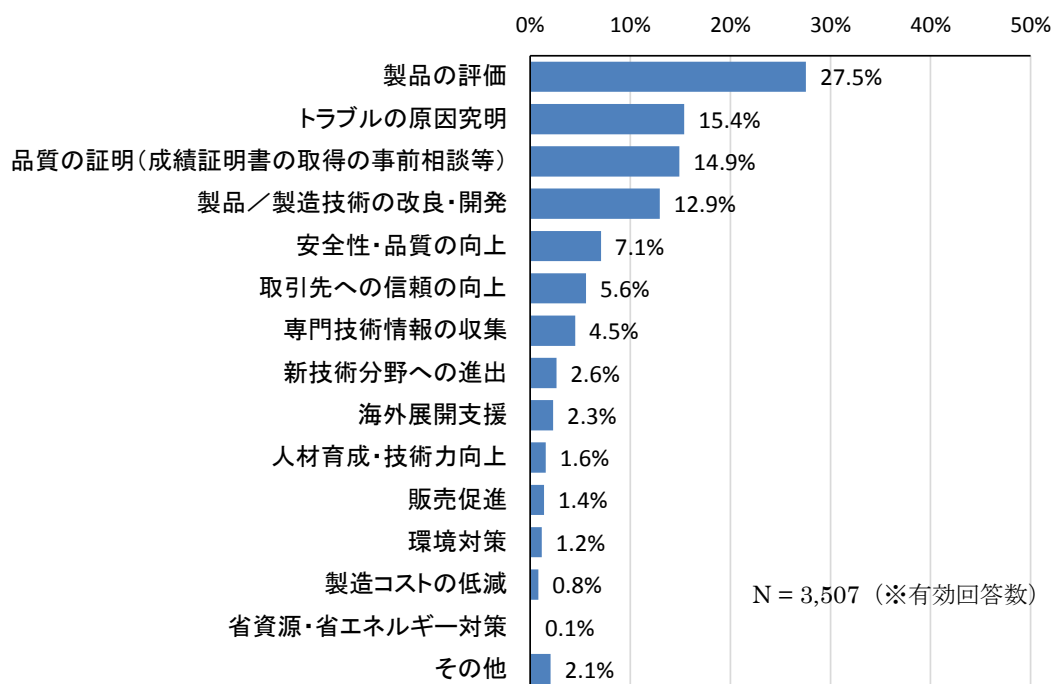
※利用者によっては、複数事業の利用があるため、それぞれの事業の回答件数の合計が N 数を超える

(1) 技術相談

本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答を頂いた。

技術相談の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「トラブルの原因究明」、「品質の証明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。

技術相談の目的(複数回答)

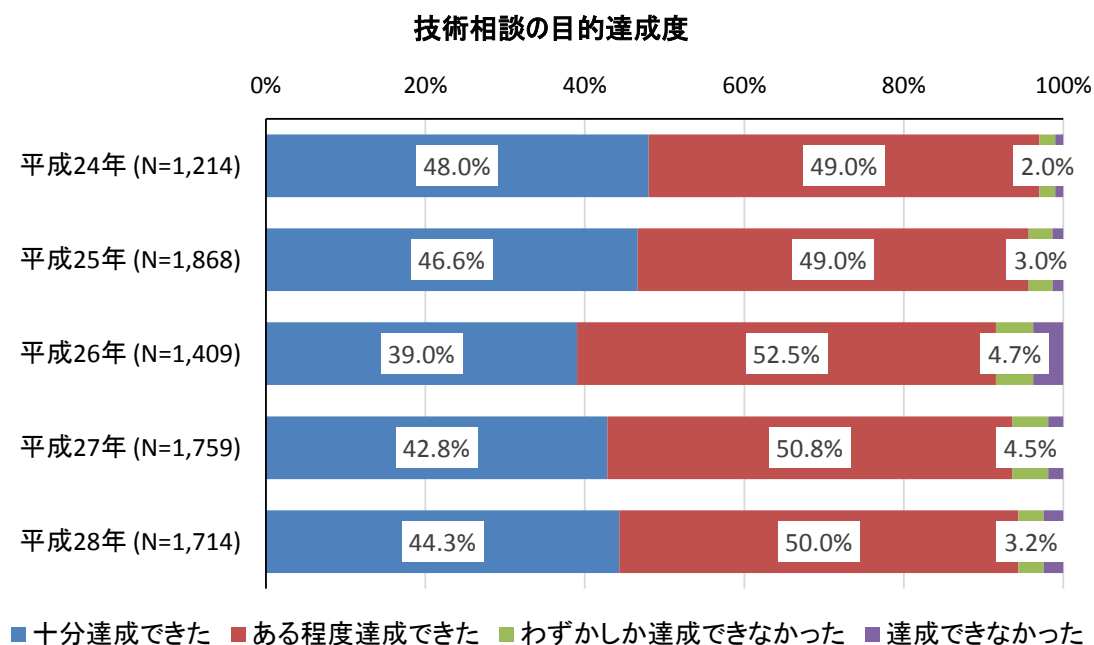


[その他の主な内容]

- ・ CE マーキング、RoHS に関する相談
- ・ 他社特許の属否確認
- ・ 試験方法や利用する試験機の相談
- ・ 製品開発・デザイン
- ・ 産学連携
- ・ 法令、規制に関する相談
- ・ 海外規格などの相談・情報収集

※本アンケートの複数回答の設問の集計は回答者数ではなく有効回答数(回答件数)を母数として算出している。次ページ以降の複数回答の設問の集計も同様である。

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が44.3%、「ある程度達成できた」が50.0%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、ほぼ同様の傾向である。

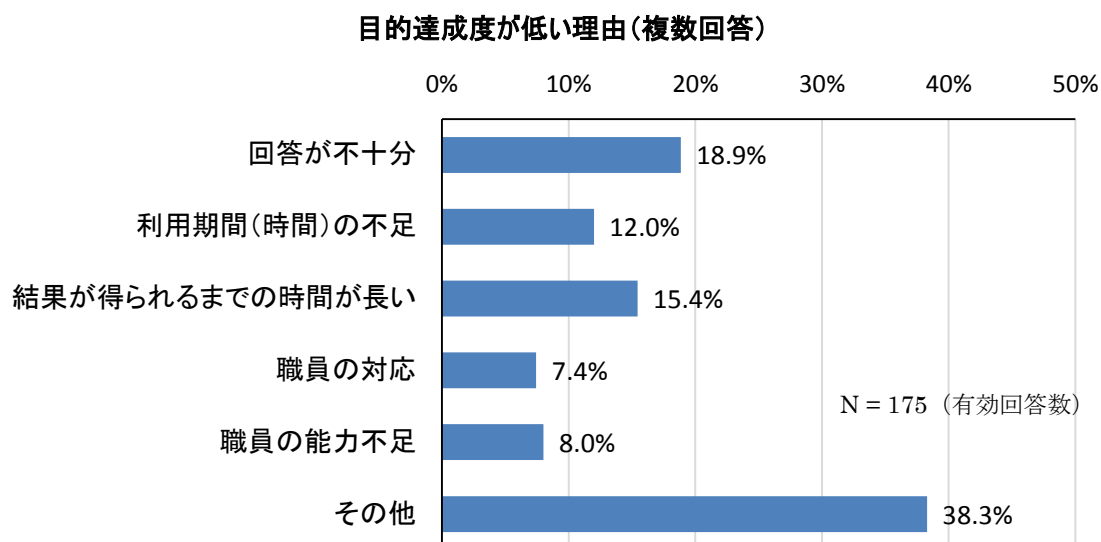


上述のような目的達成に関する具体的な成果について、467件のコメントを頂いた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

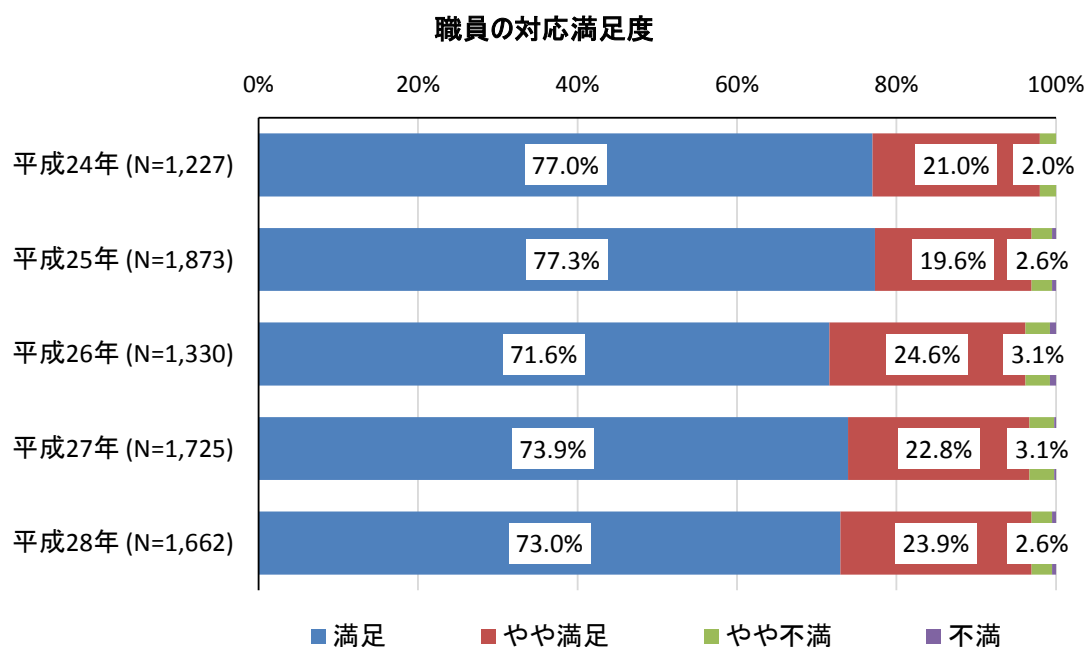
技術相談による成果の内容（回答内容から一部抜粋）

- 予備試験等を目の前で実施いただき、試験内容、必要な治具のイメージをつかむことができた。
- 輸出先の規制の情報を得られて、輸出資料の作成ができた。
- 弊社製品を欧州販売するに当たり、CEマークを表示する準備ができました。
- 不具合原因究明と処置によって製品の信頼性を向上できた。
- 中国 CCC や RoHS の専門的かつ総合的なアドバイスを頂く事ができ、早期発売に繋がった。
- 製品品質基準を満たしていることを証明するための最適試験方法が確認できた。
- 新規部材の採用にあたり、複数の候補から最も優れた製品を選定できました。
- 試験の具体的方法について相談し適切なアドバイスを頂いた。
- トラブル原因の究明には至らなかったが、調査結果を基に、顧客への説明は十分に行う事ができた。その結果、使用材料を変更し、現在は安定した品質で提供できるようになった。

目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「回答が不十分」、「結果が得られるまでの時間が長い」、「利用期間（時間）の不足」との回答割合が高かった。



技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が73.0%、同様に「やや満足」が23.9%と、合計して96.9%が満足と答えている。



(1) 技術相談

技術相談のサービスに対する意見・要望について、166件のコメントを頂いた。

「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数頂いている。一方、下記のように、担当者によって対応の質が異なることや利用者目線での対応の必要性が指摘された。

技術相談についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

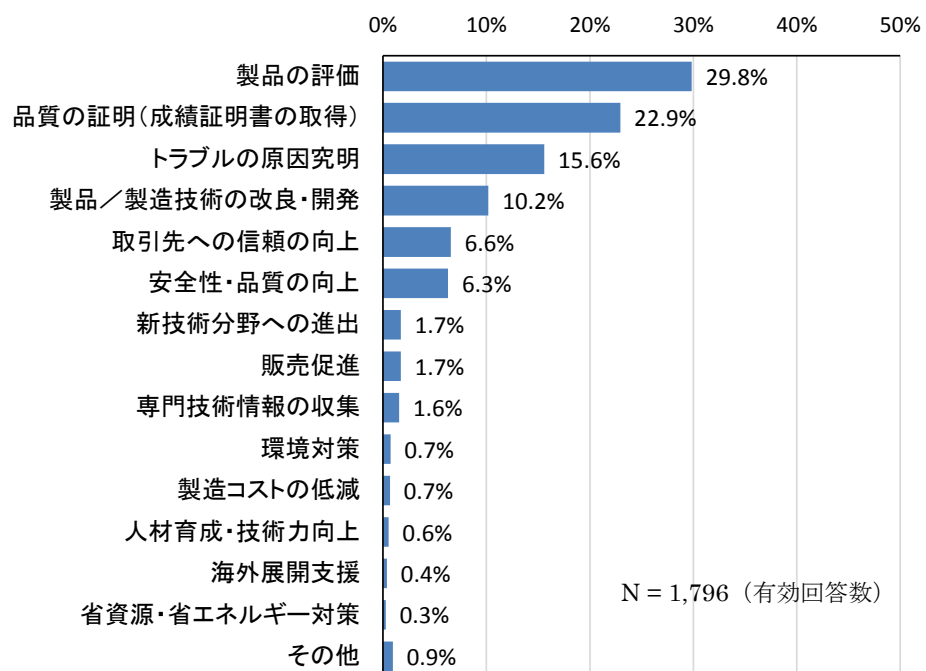
- 分析結果が出るまでの時間がかかることがある。急ぎの場合もあるので、もう少し短縮できないか。
- 職員が自センターのサービス内容を詳細に把握していないことがあった。こういったことは自組織内で常に情報更新して欲しい。
- 専門用語が多いと感じる。利用者の知識、用語の理解度に応じて相談にのってほしい。
- 都産技研以外の近隣県や公私問わず実験機関等の情報をとりまとめ、都産技研で実施できない場合の紹介等をしていただけると助かります。
- 企業、都産技研、専門研究部門(大学)とのつながりをもっとほしい。
- もう少し遅くまで利用できるとありがたい。

(2) 依頼試験

本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答を頂いた。

依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」、「品質の証明」の回答割合が高い。次いで、「トラブルの原因究明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。また、「取引先への信頼の向上」、「安全性・品質の向上」の回答割合も一定程度あった。

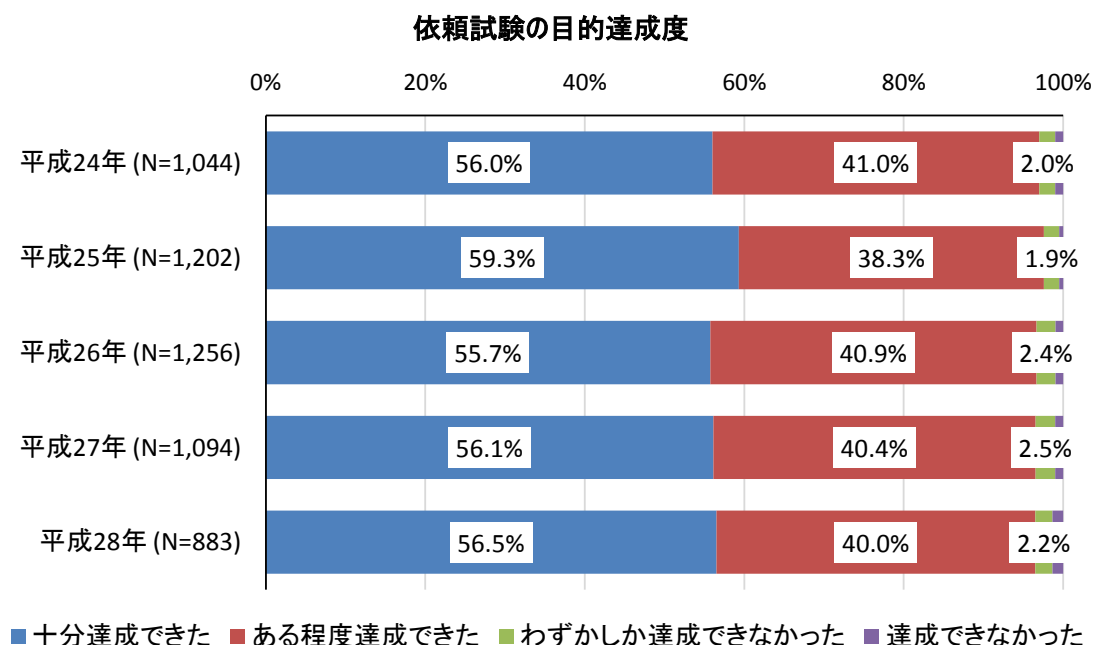
依頼試験の目的(複数回答)



[その他の主な内容]

- ・ 模造品の材料調査
- ・ 部品の γ 線照射試験
- ・ 他社特許の属否確認
- ・ 成分の分析依頼
- ・ 機器の劣化診断

依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が56.5%、「ある程度達成できた」が40.0%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、ほぼ同様の傾向である。

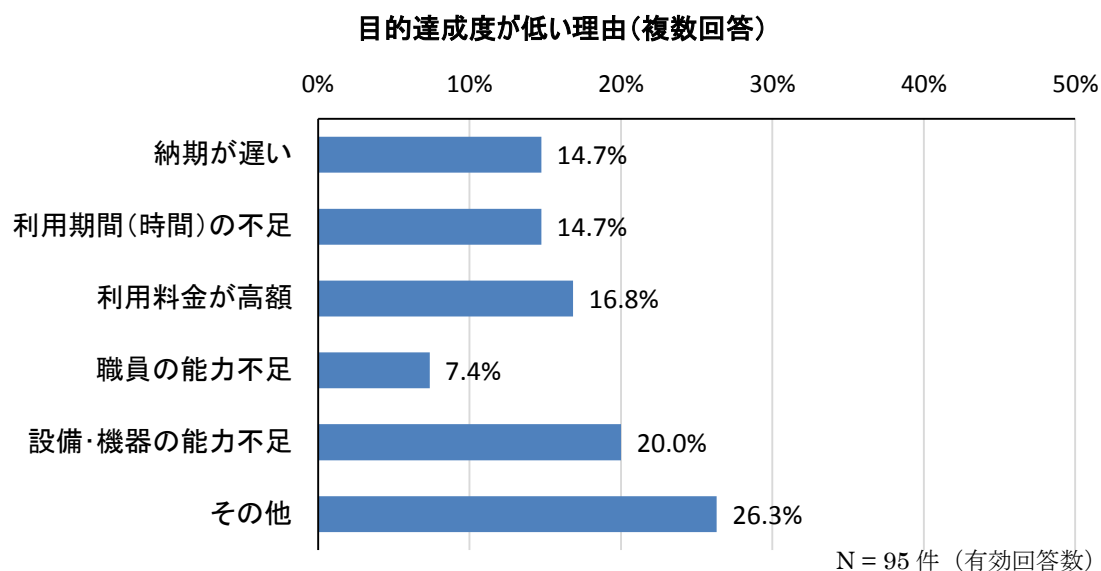


上述のような目的達成に関する具体的な成果について、235件のコメントを頂いた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

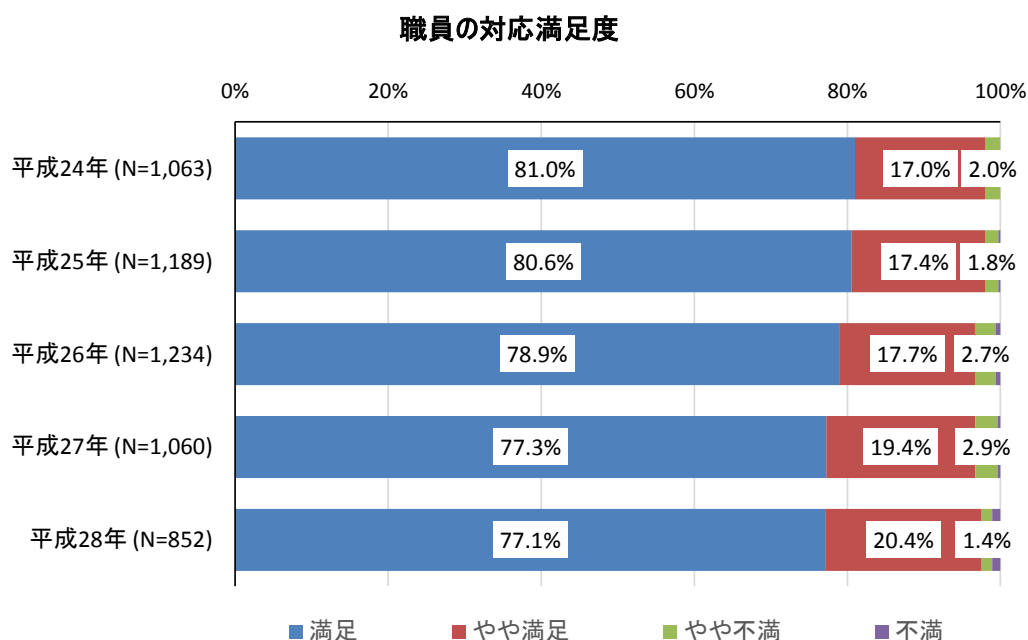
依頼試験による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 弊社加工製品の安全性の証明ができた。
- 発売前の製品の欠点が改良できた。また、自社他製品との定量的な比較ができた。
- 破損品の原因追及を目的として試験を行った。試験結果により、破損原因と根拠について依頼先にご納得頂けた。
- 他の一般的な外部試験機関より大幅に安価のため、いままで躊躇していたような分析等を依頼することができた。また、故障中の装置の代わりに依頼することで業務の支障を最小限に抑えられた。
- 自動車部品にて耐候性を実施した。これにより耐候性への影響度を把握でき、さらなる材料改善を継続している。
- 高度な機器による分析結果から新たな課題が得られるなど、非常にありがたい結果が得られた。
- 現状は、「感覚値」で加工していたが、「数値」による管理で加工できるようになった。

目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「設備・機器の能力不足」、「利用料金が高額」との回答割合が高かった。



技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 77.1%、同様に「やや満足」が 20.4%と、合計して 97.5%が満足と答えている。



(2) 依頼試験

依頼試験のサービスに対する意見・要望について、91件のコメントを頂いた。

技術相談と同様、「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数頂いている。一方、下記のように、(時期によっての)納期の遅さ、また予約の混雑さ・煩雑さなどに対する対応の必要性が指摘された。

依頼試験についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

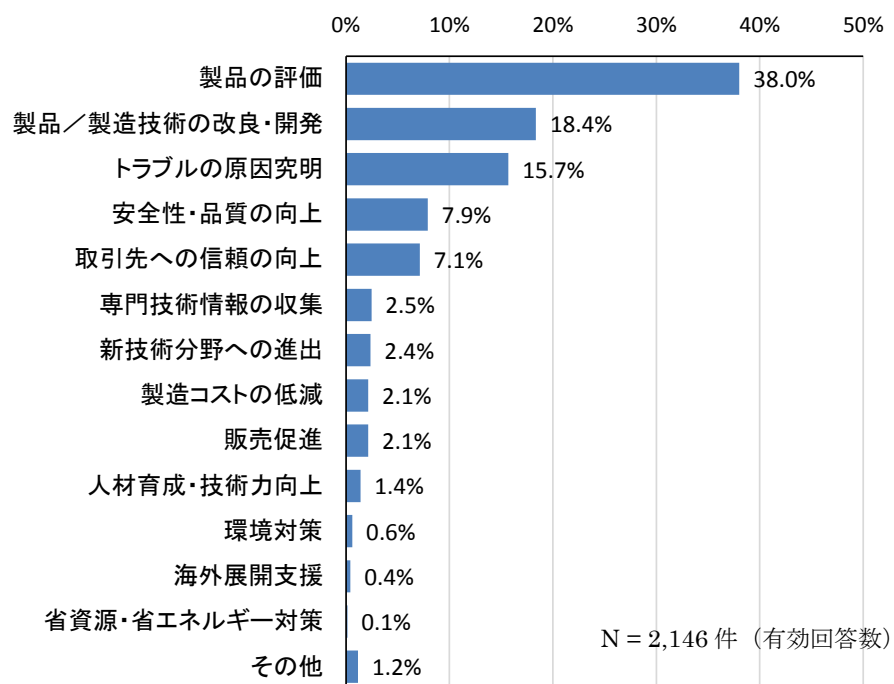
- 納期が遅いと感じる。いつ依頼したら、どれ位で完了するかを目安が分かればありがたい。
- 装置の予約が混んでいる。利用できるまでに時間がかかりかかった。緩和されることを期待する。
- 試験機器の情報が不足していると感じる。マニュアル類を参照できるようにしたらどうか。
- 試験機器の空き状況をホームページ上で検索等できるようにしたら良いのではないか。
- 試験結果が出るのが遅く、結果に対する解釈も不十分に感じる。

(3) 機器利用

本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答を頂いた。

機器利用の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「製品/製造技術の改良・開発」、「トラブルの原因究明」の回答割合が高かった。また、「安全性・品質の向上」、「取引先への信頼の向上」の回答割合も一定程度あった。

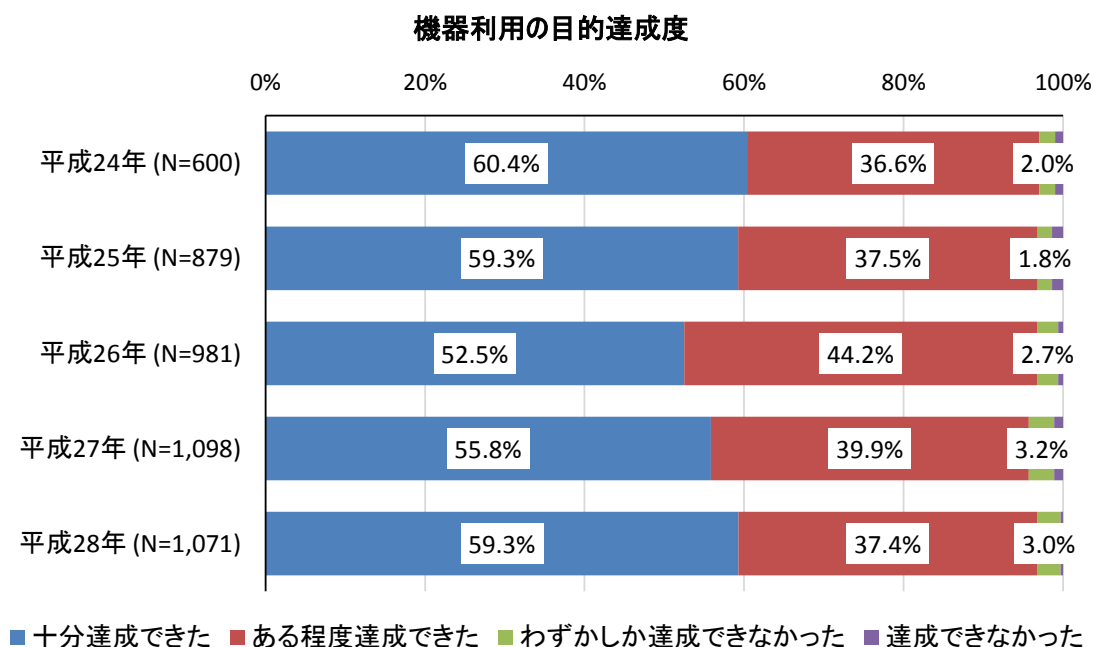
機器利用の目的(複数回答)



[その他の主な内容]

- ・測定機器の校正
- ・ソフトウェアの試用
- ・サンプル作製
- ・基礎実験データの収集
- ・3Dプリンターの利用

機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が59.3%、「ある程度達成できた」が37.4%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、ほぼ同様の傾向である。



上述のような目的達成に関する具体的な成果について、302件のコメントを頂いた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

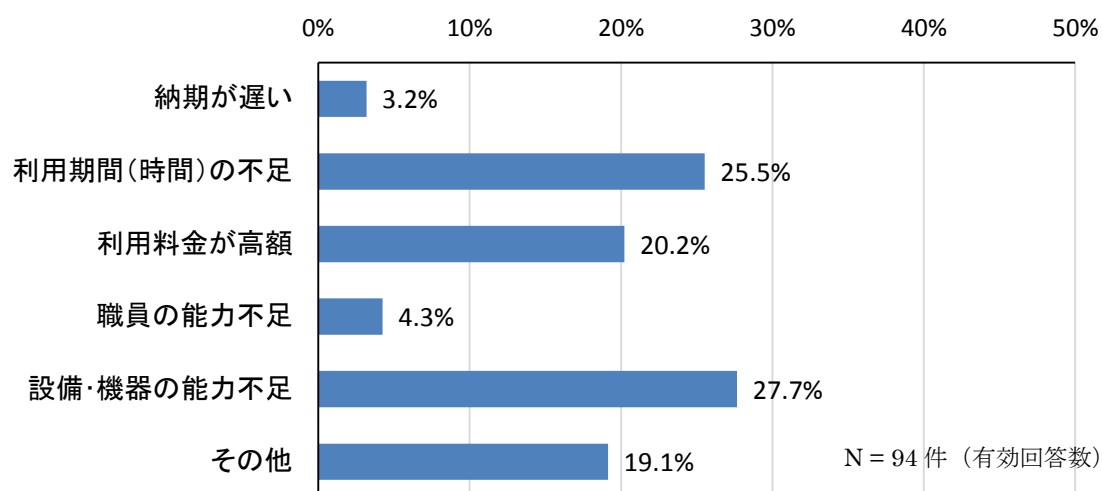
機器利用による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 良否判定の資料が作成でき、お客様との打合せがスムーズに進められた。
- あらかじめ環境試験を行っていたことで、市場トラブルに対して想定要因の予見が出来た。
- 設計はしたものの、はめ合いがよく分からなかった。3Dプリンタで造形することによって実際にはめ合いを確認することができた。
- 自社では実施できない評価項目を実施し、評価報告書を完成させることができた。
- 試作段階で機能不足が証明され改良設計に至った。
- 感覚的なものを数値化できたことで、効果の有効性を証明でき、新製品の立ち上げが可能となった。

(3) 機器利用

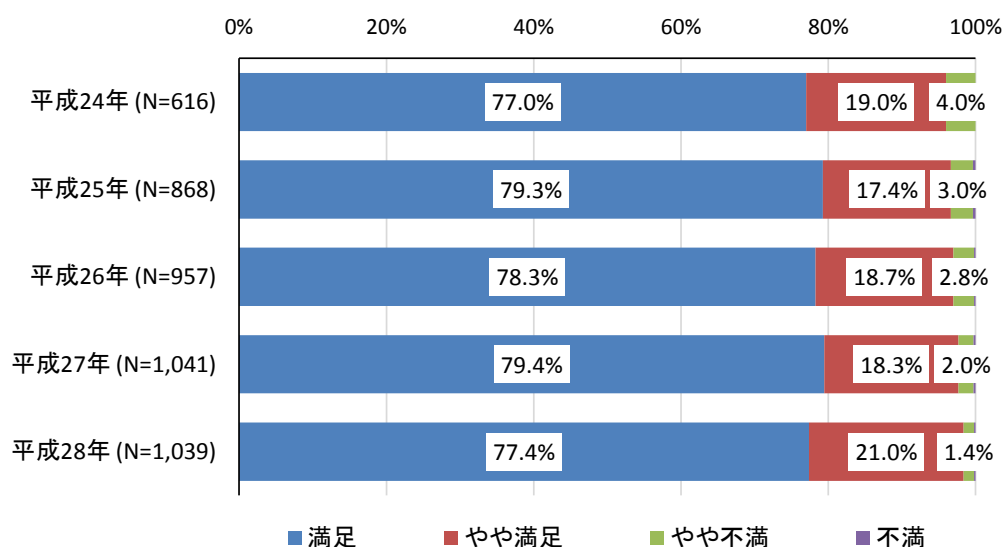
目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「設備・機器の能力不足」、「利用期間（時間）の不足」、「利用料金が高額」との回答割合が高かった。

目的達成度が低い理由(複数回答)



機器利用の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 77.4%、同様に「やや満足」が 21.0%と、満足している割合がとて高い。経年の傾向をみていくと、「やや不満」との回答割合が減少傾向（「満足」+「やや満足」の割合合計が増加傾向）にある。

職員の対応満足度



機器利用のサービスに対する意見・要望について、128件のコメントを頂いた。

他のサービスと同様、「親切な対応に満足している」などの前向きなご意見を多数頂いている。一方、下記のように、支払いの利便性向上や機器の取り扱いのための説明書などの書類の整備の必要性が指摘された。

機器利用についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

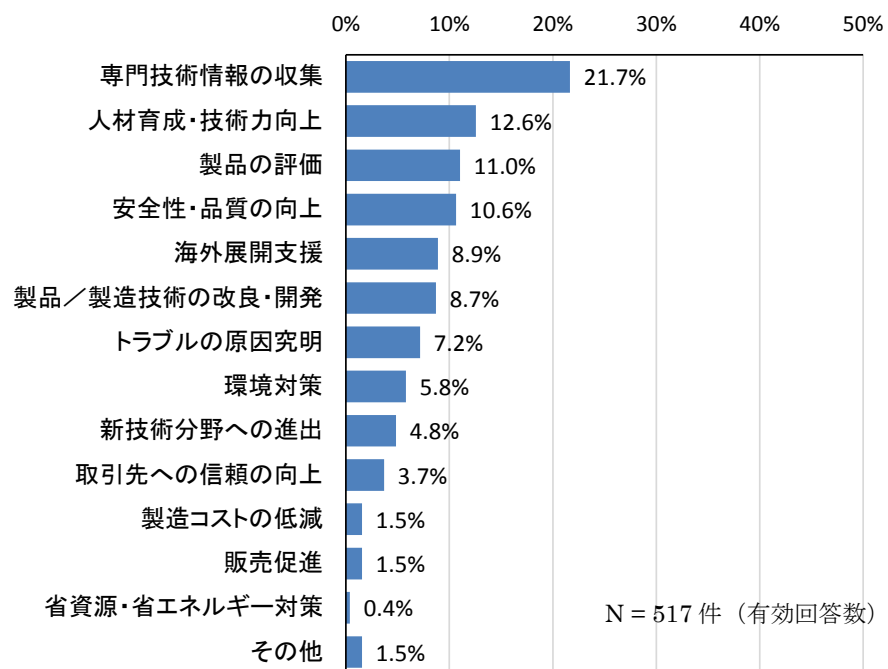
- 利用料金が高額の場合、当日持ち合わせがなかったり、また急遽仮払いがしてもらえないことも考えられる。後日振込などの支払い方法を選べるようにしたら良いのではないか。
- 機器の使用方法について、一度では覚えきれず、何度も問い合わせた。簡単な説明書や Q&A があれば、職員の負担も減るのではないか。
- 利用時間を 20:00 までなど延長してほしい。

(4) 講習会・技術セミナー

本設問では、「講習会・技術セミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答を頂いた。

講習会・技術セミナーの利用目的としては、「専門技術情報の収集」の回答割合が高い。次いで、「人材育成・技術力向上」、「製品の評価」、「安全性・品質の向上」などの回答割合が高かった。

講習会・技術セミナーの目的(複数回答)

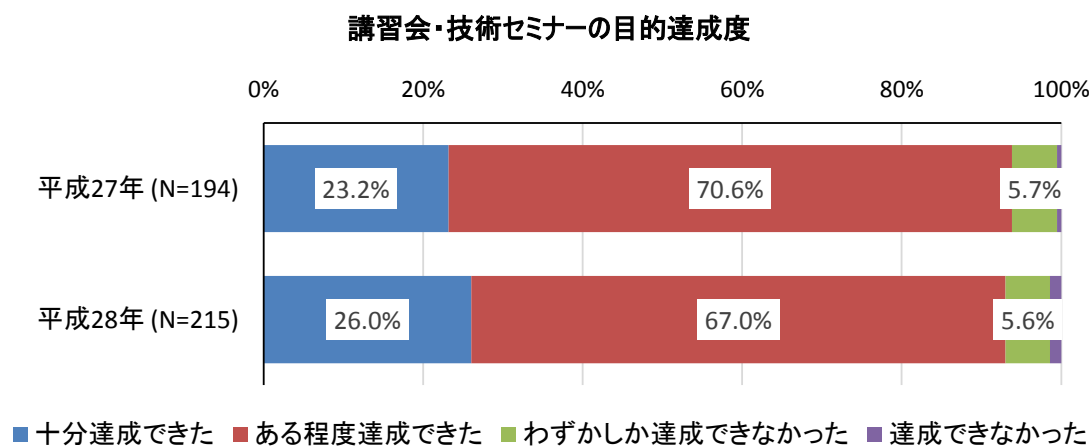


[その他の主な内容]

- ・ 中国の規格
- ・ 海外認証取得
- ・ RoHS 指令
- ・ CE マーク宣言

(4) 講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナーの目的達成度は、「十分達成できた」が26.0%、「ある程度達成できた」が67.0%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、各年とも目的を達成している割合がとても高い。



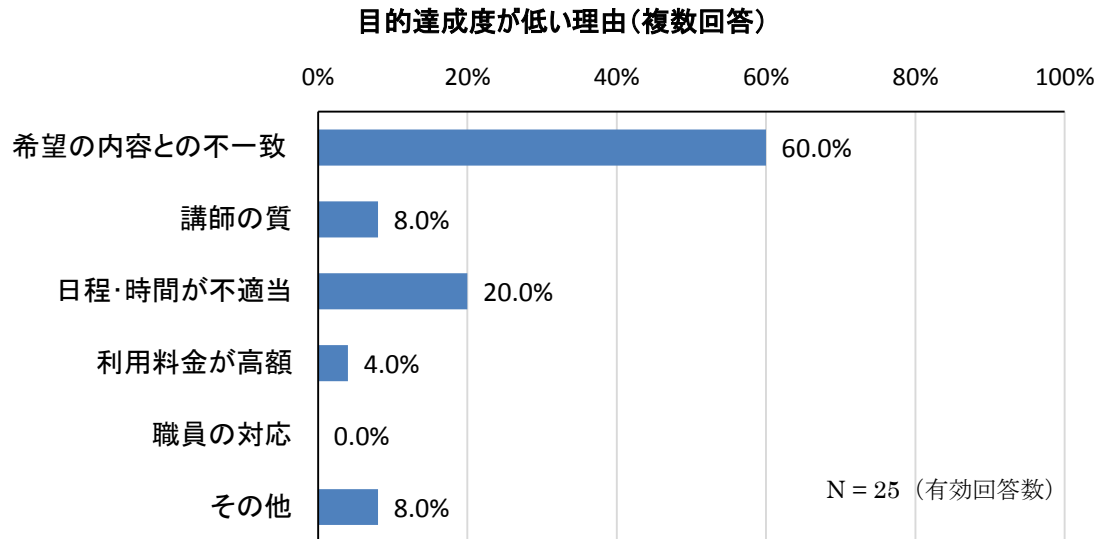
上述のような目的達成に関する具体的な成果について、44件のコメントを頂いた。成果の具体的な内容例は以下の通り。

講習会・技術セミナーによる成果の内容(回答内容から一部抜粋)

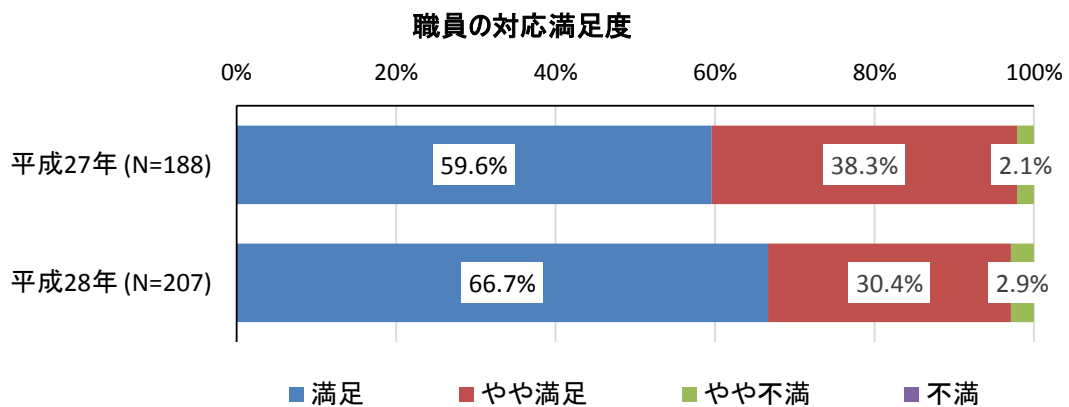
- 不具合原因の調査方法(ガラス割れなど)や、新商品の材料選定などで役立っている。
- 品質管理担当者として様々なジャンルの製品について学ぶことができ、業務に生かすことができた。
- 製品評価の方法について、自社の製造・販売セクションが共通の知識を得られた。
- 世界の環境法令(主にEU、中国)の動向について最新情報を得ることが出来た。
- RoHS や CE の情報収集ができた。

(4) 講習会・技術セミナー

目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、「希望の内容との不一致」との回答割合が高かった。次いで、「日程・時間が不適當」の回答割合が高い。



講習会・技術セミナーの職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が66.7%、同様に「やや満足」が30.4%と、満足している割合がとても高い。経年の傾向をみていくと、平成27年との比較のみであるが、「満足」の回答割合が大きく増加している。



(4) 講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナーのサービスに対する意見・要望について、23件のコメントを頂いた。「大変勉強になった」などの前向きなご意見を多数頂いている。一方、下記のように、より特化した内容やマーケティング関連の内容のセミナーを実施してほしいとの要望を頂いた。

講習会・技術セミナーについての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

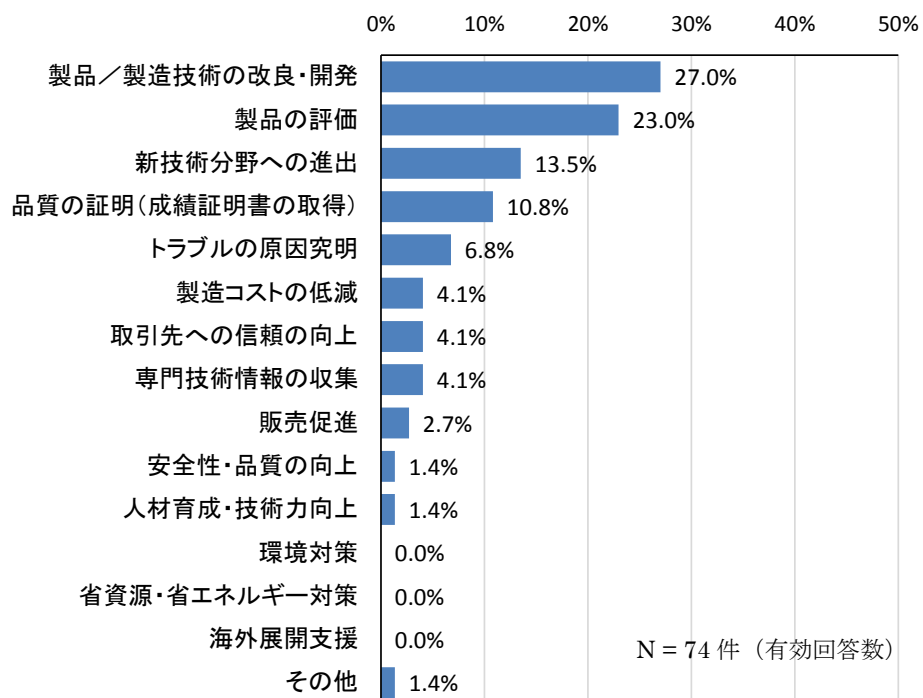
- 1 回きりの単発のセミナーばかりでなく、3回、5回と連続したセミナーを行い、より深い知識を得られるようなセミナーを実施して頂きたい。
- 技術面についてのセミナーはあるが、技術動向を含めた製品開発の方向性・展望などについてのセミナーはあまりない。
- セミナーの時間が短い。

(5) オーダーメイド開発支援

本設問では、「オーダーメイド開発支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答を頂いた。

オーダーメイド開発支援の利用目的としては、「製品/製造技術の改良・開発」、「製品の評価」の回答割合が高い。次いで、「新技術分野への進出」、「品質の証明」などの回答割合が高かった。

オーダーメイド開発支援の目的(複数回答)

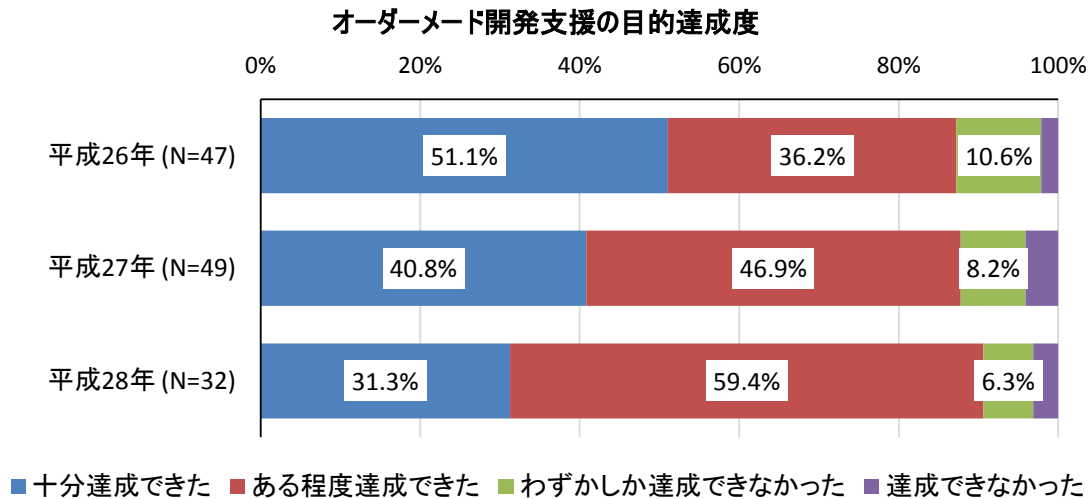


[その他の主な内容]

- ・熱解析による製品形状の最適化

(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援の目的達成度は、「十分達成できた」が 31.3%、「ある程度達成できた」が 59.4%となっている。90%以上の利用者が十分或いはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、各年とも目的を達成している割合がとても高いが、「十分達成できた」の回答割合が減少傾向にある。



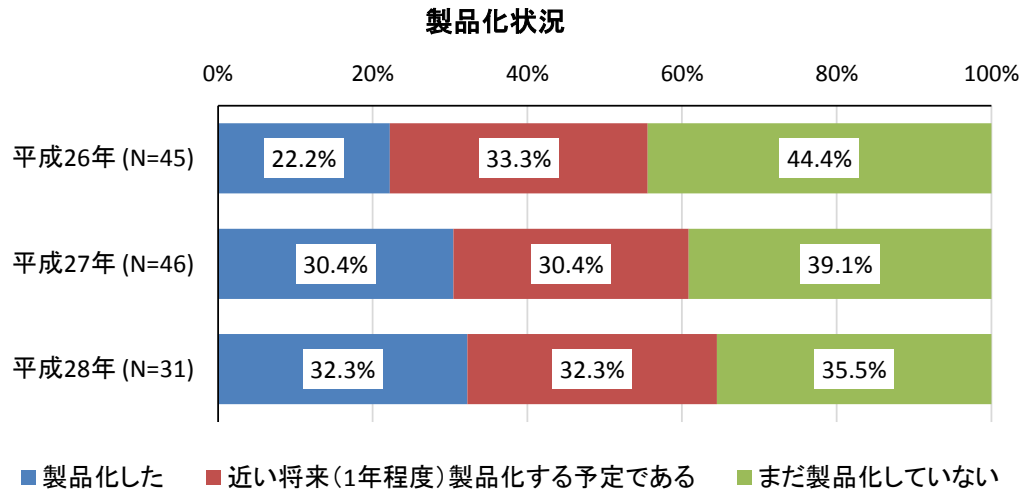
上述のような目的達成に関する具体的な成果の内容例は以下の通り。

オーダーメイド開発支援による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

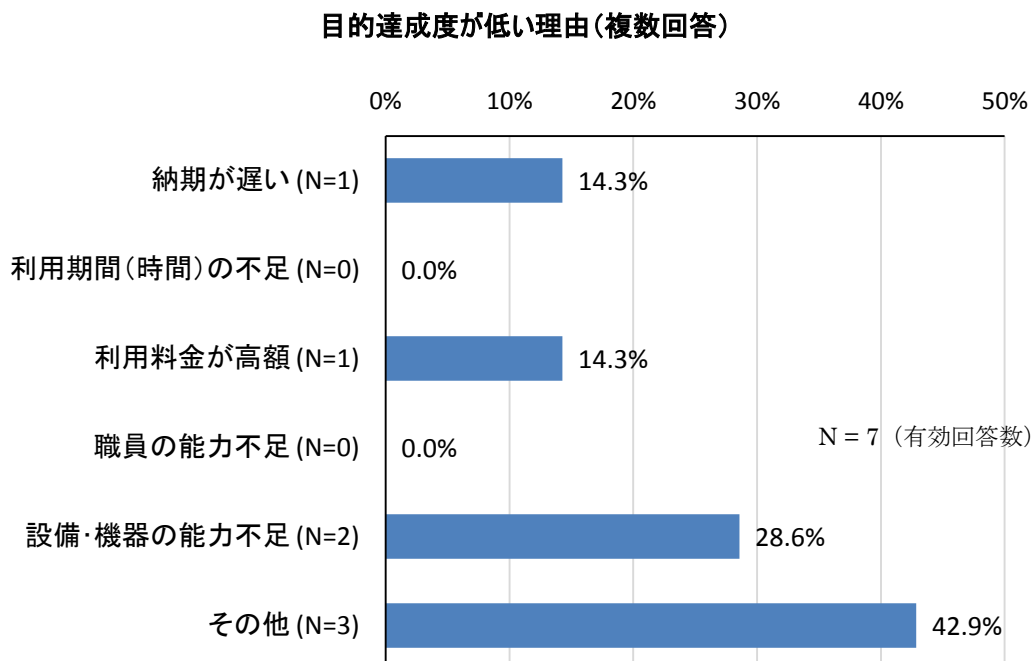
- 量子ドット(化合物半導体系)での PL 評価、並びに樹脂分散+UV 耐性簡易テストによる良否判断は役に立った。
- 熱解析によって得られた成果をもとに試作品を作成し、実使用条件での評価試験に着手できた。
- 新製品開発を行ってプロトタイプによる顧客との取り組みを始めることができた。

(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援後の製品化状況をみると、「製品化した」、「近い将来製品化する予定である」とともに、回答割合は32.3%であった。経年の傾向をみていくと、製品化した（予定含む）割合が増加している。

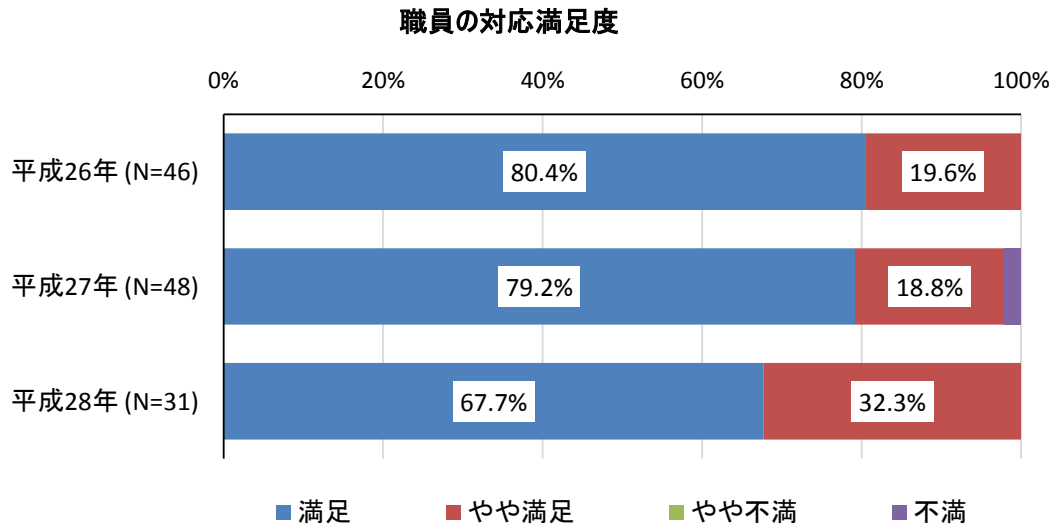


目的達成度について、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由をきいたところ、下記のような回答があった。



(5) オーダーメイド開発支援

オーダーメイド開発支援の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 67.7%、同様に「やや満足」が 32.3%と、満足している割合がとても高い。経年の傾向をみていくと、「満足」との回答割合が減少、「やや満足」との回答割合が増加している。



オーダーメイド開発支援のサービスに対する意見・要望については下記のようなコメントを頂いている。

オーダーメイド開発支援についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- 利用説明や専門家の紹介、相談など丁寧に対応頂け満足している。
- 制限時間内に測定が終わらなくてご迷惑をおかけした。難しいと思うが、時間に対してはフレキシブルにご対応いただけると助かる。

【事業の比較まとめ】

- ・利用目的は、全ての事業で「製品の評価」が上位にある。
- ・目的達成度は、全ての事業で「十分達成+ある程度達成」が90%以上となっている。
- ・達成度が低い理由としては、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」で「利用期間（時間）の不足」が挙げられている。
- ・職員の対応は、全ての事業で「満足+やや満足」が90%以上となっている。

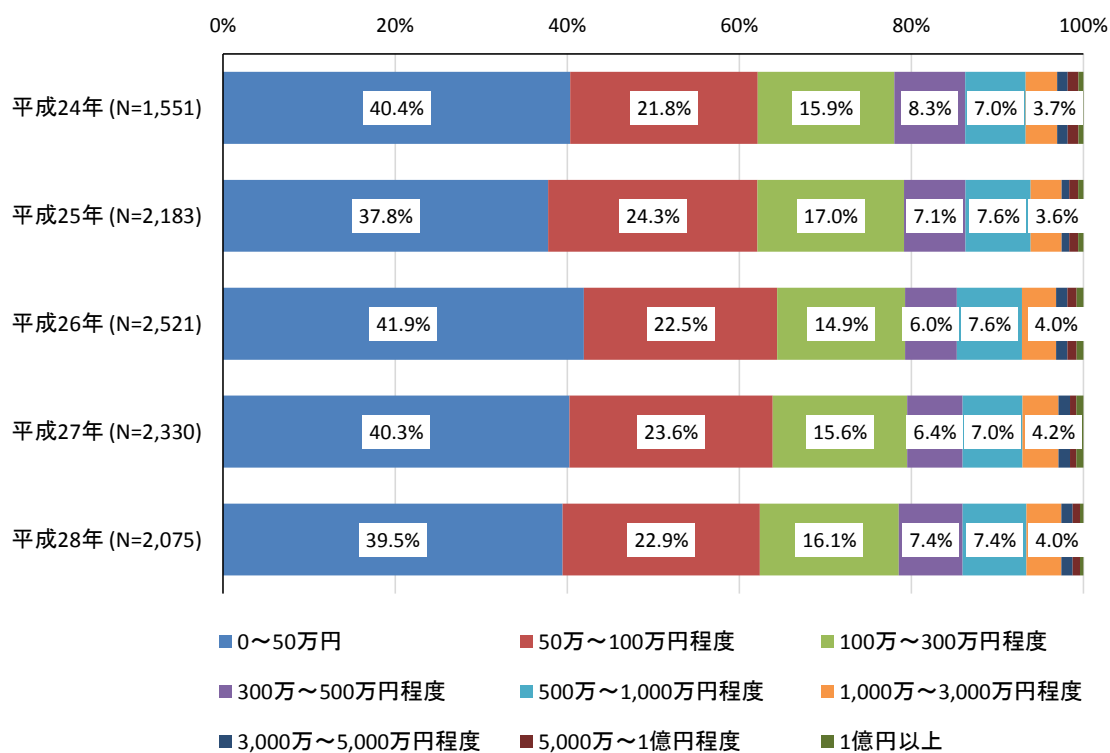
事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	講習会・技術セミナー	オーダーメイド開発支援
利用目的上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・トラブルの原因究明 ・品質の証明 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・品質の証明 ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・製品/製造技術の改良・開発 ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術情報の収集 ・人材育成・技術力向上 ・製品の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品/製造技術の改良・開発 ・製品の評価 ・新技術分野への進出
目的達成度	十分達成+ある程度達成	94.3%	96.5%	96.7%	93.0%	90.6%
	わずかしか達成できない+達成できない	5.7%	3.5%	3.3%	7.0%	9.4%
達成度が低い場合の理由上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> ・回答が不十分 ・結果が得られるまでの時間が長い ・利用期間（時間）の不足 <p style="text-align: right;">N = 175</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・利用料金が高額 ・納期が遅い ・利用期間（時間）の不足 <p style="text-align: right;">N = 95</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・利用期間（時間）の不足 ・利用料金が高額 <p style="text-align: right;">N = 94</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容と不一致 ・日程・時間が不適當 ・講師の質 <p style="text-align: right;">N = 25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・納期が遅い ・利用料金が高額 <p style="text-align: right;">N = 7</p>
職員の対応	満足+やや満足	96.9%	97.5%	98.4%	97.1%	100.0%
	やや不満+不満	3.1%	2.5%	1.6%	2.9%	0.0%

2.4.都産技研の利用による経済効果について

都産技研の利用により得られたと思われるメリットの金額換算についてきいた。「0～50万円」の回答割合が39.5%、以下同様に、「50万～100万円程度」が22.9%、「100万～300万円程度」が16.1%、「300万～500万円程度」が7.4%、「500万～1,000万円程度」が7.4%、「1,000万～3,000万円程度」が4.0%となっている。経年変化をみても大きな変化はなく、安定した経済効果が創出されている。

都産技研の利用により得られたメリットの金額換算



次に、一企業あたりの経済効果を以下の試算によって算出した。

「0～50 万円」への回答は 25 万円
 「50～100 万円」への回答は 75 万円
 「100～300 万円」への回答は 200 万円
 ……
 「1 億円以上」への回答は 1 億円

として、全体の加重平均を算出する

経済効果の算出

回答	平均金額	回答件数
0～50 万円	25 万円	819
50 万～100 万円程度	75 万円	476
100 万～300 万円程度	200 万円	335
300 万～500 万円程度	400 万円	154
500 万～1,000 万円程度	750 万円	154
1,000 万～3,000 万円程度	2,000 万円	84
3,000 万～5,000 万円程度	4,000 万円	27
5,000 万～1 億円程度	7,500 万円	18
1 億円以上	1 億円	8

■経済効果 総額(2,075 件) 79 億 1,275 万円
 ■加重平均値 約 381 万円/企業
 ■利用企業全体での経済効果金額(9,677 社) 約 369 億 202 万円

経済効果総額 = (25 万円×819 件) + (75 万円×476 件) + (200 万円×335 件)
 + (400 万円×154 件) + (750 万円×154 件) + (2,000 万円×84 件)
 + (4,000 万円×27 件) + (7,500 万円×18 件) + (1 億円×8 件)
 =79 億 1,275 万円

平均額 =79 億 1,275 万円÷2,075 件
 =約 381 万円/企業

利用企業全体での経済効果金額 =381 万円×9,677 社 (*注)
 = 約 369 億円

(*注) 平成 28 年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの経済効果金額は約 381 万円となり、昨年結果 (411 万円/企業) よりも約 30 万円減少している。また、利用企業全体での経済効果金額は、約 369 億円となり、昨年結果 (約 392 億円) から減少している。

更に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、497 件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを 3 種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類 A 「現在コストの削減」

- ・どのような試験を行なえばよいか、相談をしてから実験ができ、無駄な時間、労力、コストが削減できた。また、実験方法に関しても指示していただけたので、治具等の製作が無駄なくできた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

- ・試験機器を利用することで、使い方を習得できたため、クライアントが保有する類似の試験機器を使用できるようになり、業務の受注量拡大につなげることができた。

分類 C 「将来メリットの獲得」

- ・依頼試験により、原因物質の分析とその影響が確認（類推）できた。専門家によるアドバイスと的確な試験の実施により、効率的かつ経済的に行なう事ができた。

経済効果額別/分類別件数

単位：件

経済効果額	分類A コスト削減	分類B 売上/利益	分類C 将来メリット	合計
0～50 万円	70	14	27	111
50 万～100 万円程度	78	8	21	107
100 万～300 万円程度	63	26	16	105
300 万～500 万円程度	38	7	11	56
500 万～1,000 万円程度	27	12	16	55
1,000 万～3,000 万円程度	16	11	10	37
3,000 万～5,000 万円程度	5	6	2	13
5,000 万～1 億円程度	2	3	4	9
1 億円以上	0	3	1	4
合計	299	90	108	497

分類 A～C それぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、同様に加重平均によって算出した結果、以下のとおりとなった。

分類 A 「現在コストの削減」の経済効果額 =410 万円/企業

分類 B 「売上/利益の獲得」の経済効果額 =1,294 万円/企業

分類 C 「将来メリットの獲得」の経済効果額 =832 万円/企業

経済効果の理由についての内容(回答内容から一部抜粋)

分類 A 「現在コストの削減」

- 測定機器を購入すると約 1,000 万円以上と思われ年間の測定頻度から考え 100 万円～300 万円程度の削減効果があると思われる。
- 依頼した試験は、関東でも試験を実施できる施設が少ない。試験費用も安かったため、報告書の作成に掛かる経費だけ考えても、100 万円程度の経済効果があった。
- EU 化粧品のアレルギー対応について、ラベルへの表示方法などご相談させて頂いた。外注だと 100 ～300 万円程する。

分類 B 「売上/利益の獲得」

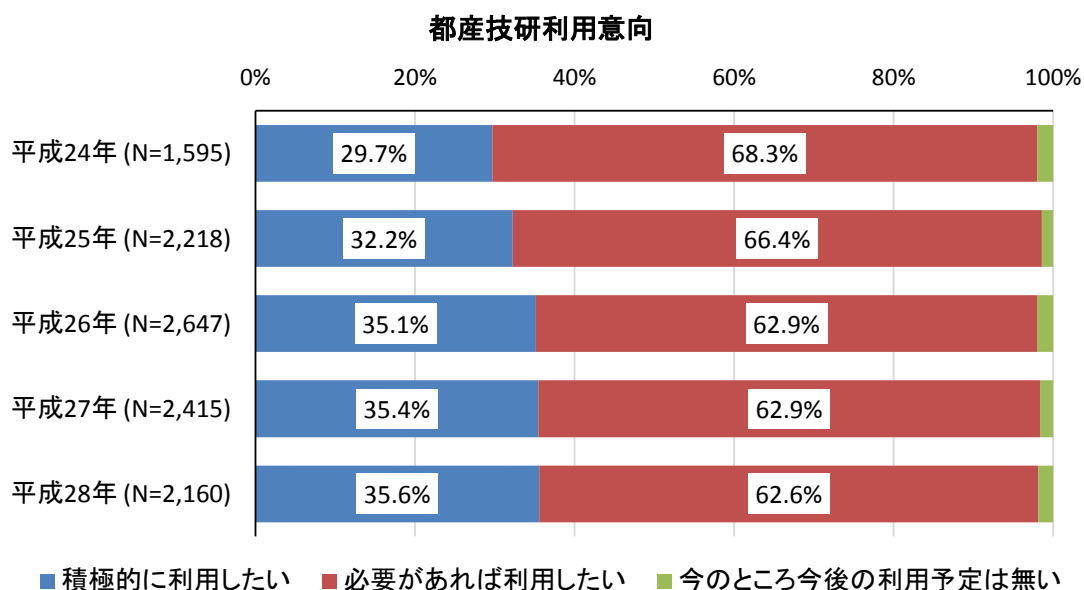
- CE マークを取得することができ、受注を得られた。リピート受注もあり、100 万円以上の売上につながった。
- 自社で持っていない設備を機器利用し、今まで取り込む事が出来なかった案件を受注可能になった。
- 技術相談により規格対応における知識およびスキルが向上した結果、現時点で 900 万円の売り上げにつながった。

分類 C 「将来メリットの獲得」

- 分析機器を利用することで新しい知見が得られ、新規開発のひとつの指標となる可能性があることが発見できた。
- 製品の品質証明が出来た事が信用となり安心して売買できた。証明出来なければ売ることは出来ない。
- 客先からのクレームに対し、正確に回答することが出来、信頼が回復できた。

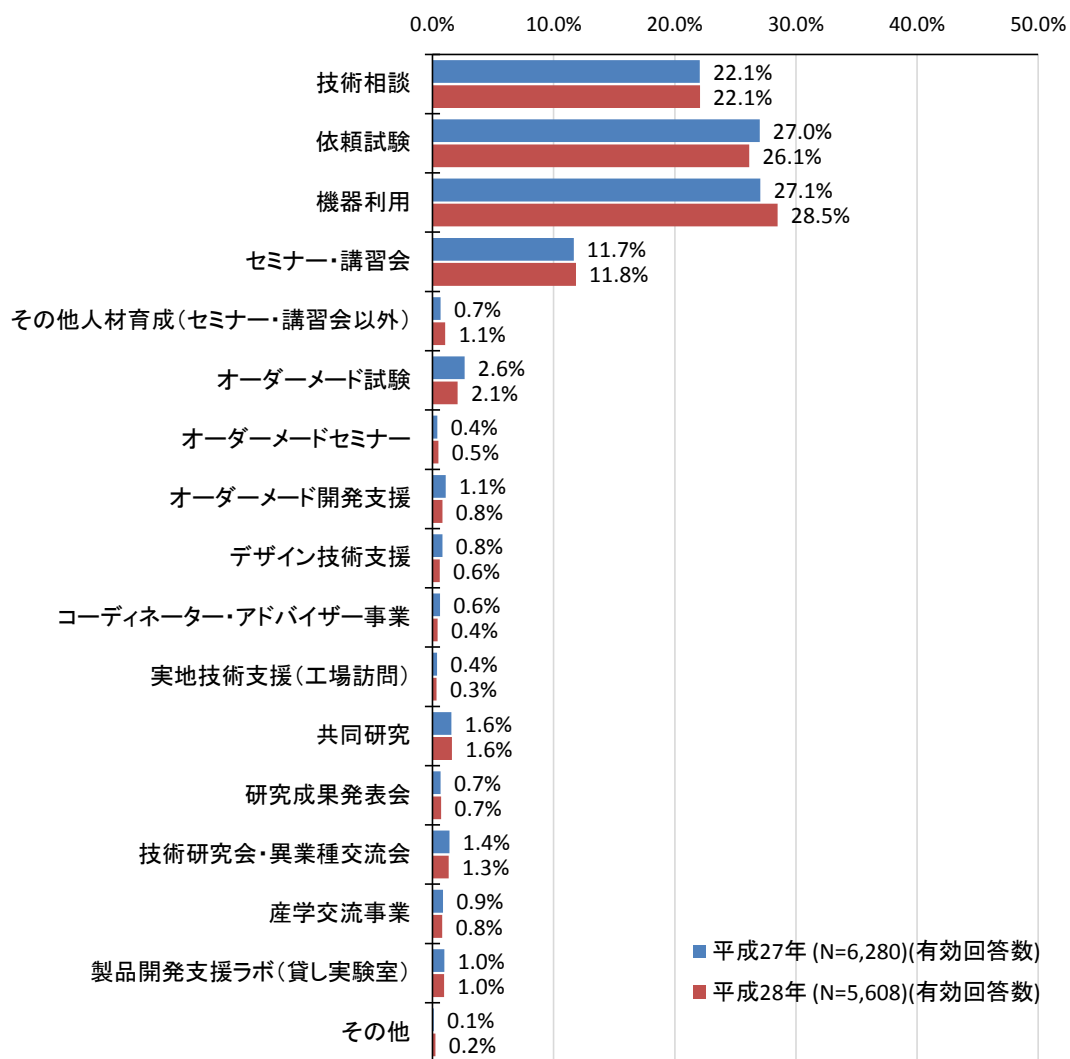
2.5.今後の利用意向及び要望について

今後も都産技研を利用したいかどうかきいたところ、「積極的に利用したい」の回答割合は35.6%、「必要があれば利用したい」との回答割合は62.6%であった。経年変化をみると、若干ではあるが、「積極的に利用したい」との回答割合は増加傾向にある。



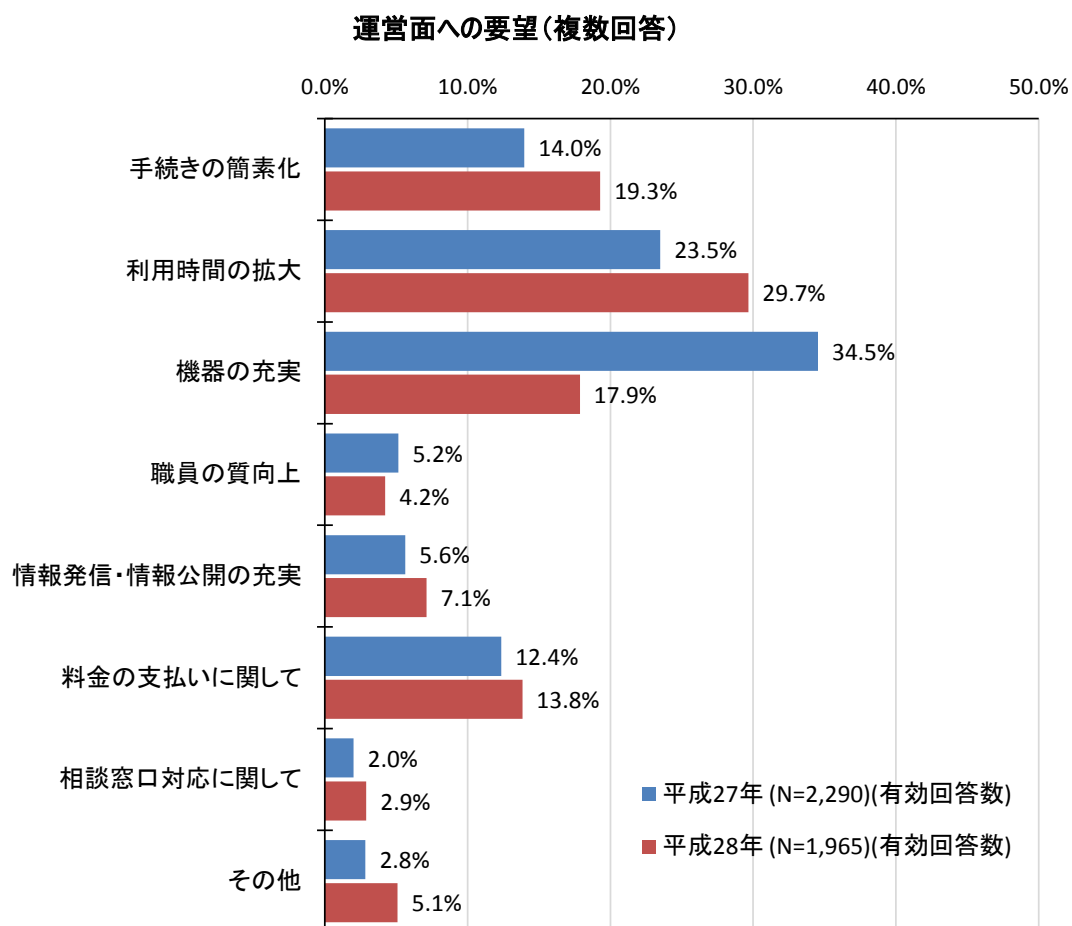
利用を希望する具体的な事業・サービスについてきいたところ、「機器利用」、「依頼試験」、「技術相談」の回答割合が高かった。「セミナー・講習会」との回答割合も一定程度あった。

利用希望サービス(複数回答)



また、都産技研の運用面での要望では、「利用時間の拡大」との回答割合が最も高い。次いで、「手続きの簡素化」、「機器の充実」の回答割合が高かった。

経年変化をみていくと、昨年に比べて、「機器の充実」の回答割合が大きく下がっている。一方で、「利用時間の拡大」、「手続きの簡素化」、「料金の支払いに関して」の割合が高くなっており、当該部分への要望が高まっている。



運営面の要望については、75件のコメントを頂いた。上述の運営面への要望の集計結果の傾向の通り、利用利便性の向上に関する事項が指摘された。

運営面への要望についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)

- 機器使用の予約が取れないケースが多い
- 機器利用の担当者と連絡が取りづらい
- 技術相談の対応日、時間を増してほしい。

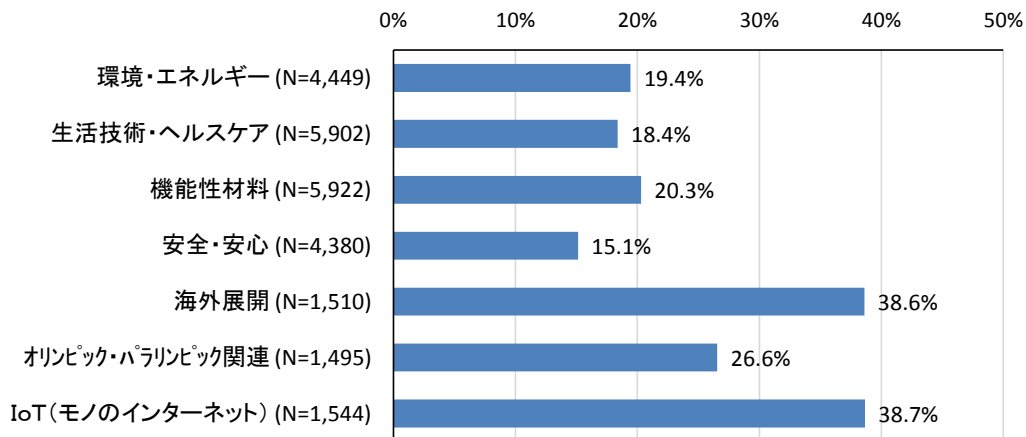
2.6.参入予定分野・利用予定事業（サービス）について

本設問では、興味や関心のあるサービス分野・事業における「参入予定のある分野」、「利用予定のある事業（サービス）」についてきいた。

【参入予定のある分野】

将来的に参入したい分野については、「IoT」の割合が高い。また、海外展開やオリンピック・パラリンピック関連事業への参入を検討する回答も多かった。

参入意向(参入したい+必要があれば参入したいの割合)(複数回答)



※環境・エネルギーは、「環境浄化技術」+「電力省エネ技術」+「再生可能エネルギー」の合算値

※生活技術・ヘルスケアは、「感性工学」+「高齢者支援」+「細胞培養デバイス」+「医療機器」の合算値

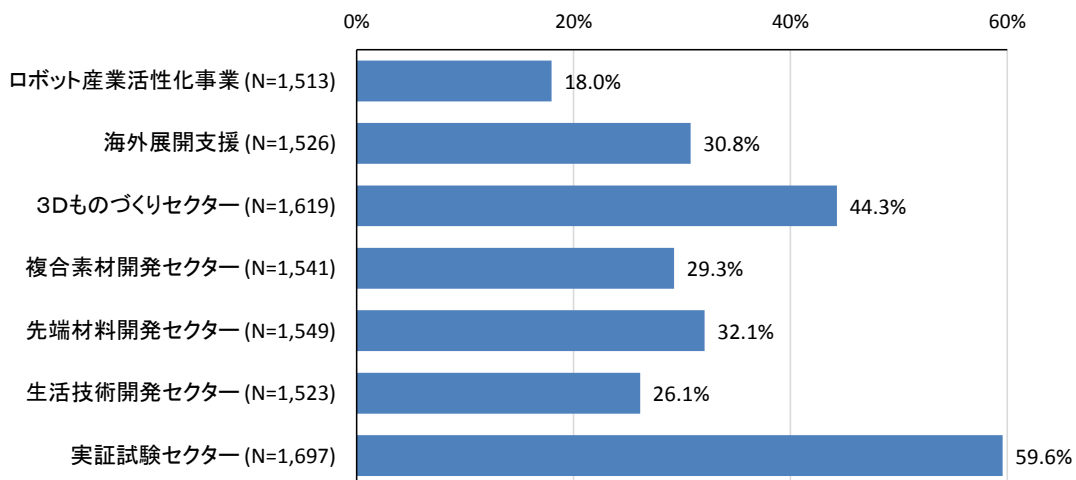
※機能性材料は、「微粒子材料・薄膜材料」+「航空宇宙素材」+「金属材料」+「炭素繊維強化プラスチック」の合算値

※安全・安心は、「インフラ劣化診断」+「システム安全」+「サービスロボット」の合算値

【利用予定のある事業（サービス）】

利用予定事業（サービス）については、「実証試験セクター」の回答割合が突出して高い。次いで、「3Dものづくりセクター」などの回答割合が高かった。

利用予定事業(サービス)(複数回答)



3.総括

本調査では、ご利用者の皆様から数多くのご意見・ご要望を頂きました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にしたうえで事業運営に反映させていきたいと考えています。

3.1.利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆様のご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント(一部抜粋)
事業サービスの 拡充に関すること	分野の拡大 機器の充実	○オシロスコープ校正用のオプション機器が有ると良い。 ○できるだけ新しい機器の導入をすすめていただきたい。また、利用できる機器・材量等が一覧できると良い。 ○医療分野の製品と他の産業用の製品の違いや規制などについて開発・製造・販売までで必要となる対策などが知りたい。
	利用時間 の拡大	○環境試験等で長時間の試験を要求される場合があるため、長時間の利用を希望する。 ○17時までに試験が完了しないと、2日間に渡り試験を行うことになる。2時間程度は延長可能としてほしい。
	窓口サービス の拡充	○申し込みのシステムが複雑なので、総合窓口を設けたら良いのではないかと。 ○担当者の不在などで予約や相談が出来ない場合がある。部署間などで情報共有して対応して頂けないか。
既存事業サービスの 効果的提供に 関すること	納期・ 予約時間	○納期が遅い。ホームページで、いつ依頼したら、どれ位で完了するかを目安が分かるようにしてほしい。 ○混雑時は納期がかかるため、スケジュール調整が大変になる。納期の短縮はできないか。 ○インターネット上の予約、空き状況照会を充実できないか。
	支払い方法	○料金の支払いが前払いのみとなっているが、後払いも出来るようにならないか。 ○機器使用料を利用者個人のクレジットカードで支払う際、領収書の宛名を会社名で発行出来る様にしてほしい。 ○支払手続きを後日請求書発行にしてほしい。
	職員の 能力・対応	○担当者により技術レベルがまちまちと感じた。 ○依頼試験・分析等の担当者の得意分野(専門)や担当範囲等の情報を充実させてほしい。 ○担当者以外に幅広い知識を有するマネージャー的な役割の方を配置して頂くと良いのではないかと。
	情報授受	○試験結果の電子データをCD-ROM等で送付して頂くことはできないか。 ○試験サンプルの受渡しは、持ち込みだけでなく、郵送でも受け付けていただけないか。
	その他	○メールニュースの存在を知らなかった。 ○顧客から使用した試験機の詳細(型番や校正年月)を求められることがあるため、この情報をホームページなどで提供してほしい。 ○同じ部屋に複数の試験機があるケースで、一方が使用中の場合、秘密保持の観点から、もう一方が使用できない場合がある。対策して頂き利用できるようなならないか。

3.2.ご意見をもとに改善した例について

以下では、皆様から頂いたご意見を元に改善した例をご報告致します。

「事業サービスの拡充に関すること」に関して、以前からご要望の多い「機器の充実」に今後も積極的に対応いたします。平成28年7月には、試作から製品評価まで、企業の皆様にご利用いただける施設「複合素材開発サイト」をオープンしました。

加工から、織機、編機など生地製造、染色や生地へのプリント加工、生地やプリプレグなどの裁断、CFRPなどの成形設備、非破壊検査、分析機器を設置し、繊維技術や成形加工技術を活用した高機能繊維や繊維強化材料の製品開発を支援してまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」に関して、平成28年12月にホームページをリニューアルしました。利用者が知りたい使いやすいサイトを目指して、デザインや構成を一新しました。「依頼試験一覧」や「機器利用一覧」、「機器利用予約状況確認」、「環境試験機オンライン予約」をトップページに見やすく表示しました。

その他、本調査（ご利用アンケート調査）の実施・回答方法に今回からオンライン回答を導入し、全回答者のうち49%の方からオンラインにより回答いただきました。

今回、皆さまから頂戴したご意見ご要望を真摯に受け止め、より一層のサービスの質の向上に努めてまいります。今後とも都産技研のご利用の程よろしく願いいたします。

参考資料

「平成28年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.38~42)では、各種事業を利用された方のみを対象にアンケートを実施しています。

(例：平成28年に技術相談と依頼試験を利用された方には、P.40~42はお聞きしていません。)

《平成 28 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の □ 部にチェック（シ点など）を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会（ ）
	3	<input type="checkbox"/>	TIRI NEWS
	4	<input type="checkbox"/>	メールニュース
	5	<input type="checkbox"/>	施設公開等の都産技研開催イベント
	6	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	7	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	8	<input type="checkbox"/>	自社（自校）の方からの紹介
	9	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会（会誌等）
	10	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	11	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ、メールニュースおよび TIRI NEWS に関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

--

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

3. 都産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業（サービス）：**技術相談**

技術相談 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得の事前相談等）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
技術相談 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3又は4を 選択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	回答が不十分
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	結果が得られるまでの時間が長い
	4	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	5	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
技術相談時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：**依頼試験**

依頼試験 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：機器利用

機器利用 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
機器利用 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
機器利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナー の参加目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
講習会・技術セミナー の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしこ達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望の内容との不一致
	2	<input type="checkbox"/>	講師の質
	3	<input type="checkbox"/>	日程・時間が不適當
	4	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	5	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
講習会・技術セミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：オーダーメイド開発支援※1

オーダーメイド開発支援の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイド開発支援の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
本事業終了後、製品化に至りましたか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	製品化した
	2	<input type="checkbox"/>	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	3	<input type="checkbox"/>	まだ製品化していない
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※2
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
オーダーメイド開発支援時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※1 オーダーメイド開発支援とは、コンセプト立案・デザイン・設計・各種加工・試作・開発過程での性能評価等、通常の依頼試験や機器利用では対応がむずかしいニーズに対応した技術支援です。

※2 「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社（組織）が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。

	0～50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万～100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万～300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万～500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万～1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万～3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	3,000万～5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万～1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____ (億円くらい)

◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われますが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。

依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。



試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要があれば利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ今後の利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】		
番号		
A1	<input type="checkbox"/>	技術相談
A2	<input type="checkbox"/>	依頼試験
A3	<input type="checkbox"/>	機器利用
A4	<input type="checkbox"/>	セミナー・講習会
A5	<input type="checkbox"/>	その他人材育成 (セミナー・講習会以外)
A6	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド試験
A7	<input type="checkbox"/>	オーダーメイドセミナー
A8	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド開発支援
A9	<input type="checkbox"/>	デザイン技術支援
A10	<input type="checkbox"/>	コーディネーター・アドバイザー事業
A11	<input type="checkbox"/>	実地技術支援(工場訪問)
A12	<input type="checkbox"/>	共同研究
A13	<input type="checkbox"/>	研究成果発表会
A14	<input type="checkbox"/>	技術研究会・異業種交流会
A15	<input type="checkbox"/>	産学交流事業
A16	<input type="checkbox"/>	製品開発支援ラボ(貸し実験室)
A17	<input type="checkbox"/>	その他(下欄にご記入ください)

運営面への要望等【複数選択可】		
番号		
B1	<input type="checkbox"/>	手続きの簡素化 ※
B2	<input type="checkbox"/>	利用時間の拡大
B3	<input type="checkbox"/>	機器の充実 (下欄にご記入ください)
B4	<input type="checkbox"/>	職員の質向上
B5	<input type="checkbox"/>	情報発信・情報公開の 充実
B6	<input type="checkbox"/>	料金の支払いに関して
B7	<input type="checkbox"/>	相談窓口対応に関して
B8	<input type="checkbox"/>	その他 (下欄にご記入ください)

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



「利用希望サービス」「運営面への要望等」に関して具体的なご意見等ございましたらご記入ください。		
B3 関 係	新規導入・既存で更新 してほしい機器名【1 つ】	
	上記機器の使用用途	記入例：有機ELの特性評価
	上記機器の希望性能	記入例：0m以上が試験可能
A17 関 係		
B8 関 係	例) ○○○の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。	

(2) 参入予定のある分野について

参入予定のある分野*についてお答えください。

※新規の参入分野、現状よりも大幅に拡充を予定している分野を想定しています

分野名		参入予定 【それぞれ1つだけ 選択】		
		A 参入したい	B 参入したい 必要があれば	C してはいない 現在は予定
環境・エネルギー	1 環境浄化技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 電力省エネ技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 再生可能エネルギー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
生活技術・ヘルスケア	4 感性工学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 高齢者支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 細胞培養デバイス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7 医療機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
機能性材料	8 微粒子材料・薄膜材料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9 航空宇宙素材	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10 金属材料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 炭素繊維強化プラスチック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
安全・安心	12 インフラ劣化診断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13 システム安全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14 サービスロボット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	海外展開（輸出・海外拠点の設置）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	2020年 オリンピック・パラリンピック関連ビジネス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	IoT (Internet of Things)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

上記分野への参入にあたり課題やご要望がございましたらお聞かせください。

参入予定分野	1 <input type="checkbox"/>	環境浄化技術	10 <input type="checkbox"/>	金属材料
	2 <input type="checkbox"/>	電力省エネ技術	11 <input type="checkbox"/>	炭素繊維強化プラスチック
	3 <input type="checkbox"/>	再生可能エネルギー	12 <input type="checkbox"/>	インフラ劣化診断
	4 <input type="checkbox"/>	感性工学	13 <input type="checkbox"/>	システム安全
	5 <input type="checkbox"/>	高齢者支援	14 <input type="checkbox"/>	サービスロボット
	6 <input type="checkbox"/>	細胞培養デバイス	15 <input type="checkbox"/>	海外展開
	7 <input type="checkbox"/>	医療機器	16 <input type="checkbox"/>	オリンピック・パラリンピック関連
	8 <input type="checkbox"/>	微粒子材料・薄膜材料	17 <input type="checkbox"/>	IoT
	9 <input type="checkbox"/>	航空宇宙素材		
課題・ご要望				

(3) ご利用予定のある事業（サービス）について

		利用予定 【それぞれ1つだけ 選択】		
		A	B	C
	事業（サービス）	利用 したい	利用 したい 必要が あれば	現在 は予 定 し て い な い
1	ロボット産業活性化事業 ロボットを創り、ロボットを生かした新しいサービスの提供を 目指す中小企業を支援しています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	海外展開支援 輸出時における海外の製品安全規格についての相談や情報提 供、海外に展開する日系中小企業の技術支援を行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	3Dものづくりセクター ※ 3D プリンターや三次元座標測定機、三次元 CAD/CAE システ ムを整備し、開発型中小企業の 3D デジタルものづくりを支援 します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	複合素材開発セクター ※ 繊維技術、成型加工技術を活用し、高機能繊維材料や繊維強化 複合材料による製品開発を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	先端材料開発セクター ※ 機能性材料や環境対応製品など、先端材料製品開発に用いる高 度先端機器を配置し、中小企業による高度な研究開発や技術課 題の解決を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	生活技術開発セクター 生活製品に求められる「快適・健康」「安全・安心」に関する評 価機器を充実させ、人間工学、生理計測、安全性評価に基づく高 付加価値なものづくりを支援しています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	実証試験セクター 温度・湿度、劣化・腐食、振動・衝撃、電源・電気の評価、電気 や温度の国際規格に準拠した品質評価、各種製品・材料の強度 試験を行っています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※平成 28 年度開始の第三期中期計画期間において開設した事業です。

上記事業（サービス）のご利用にあたりご要望がございましたらお聞かせください。

利用予定事業	1 <input type="checkbox"/>	ロボット産業活性化事業	5 <input type="checkbox"/>	先端材料開発セクター
	2 <input type="checkbox"/>	海外展開支援	6 <input type="checkbox"/>	生活技術開発セクター
	3 <input type="checkbox"/>	3Dものづくりセクター	7 <input type="checkbox"/>	実証試験セクター
	4 <input type="checkbox"/>	複合素材開発セクター		
ご要望				

5. 貴社の業種についてお伺いします。

次の中から該当する業種にチェックを入れてください。

製造業	1	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（29）
	2	<input type="checkbox"/>	業務用機会器具製造業（27）
	3	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（24）
	4	<input type="checkbox"/>	電子部品・デバイス・電子回路製造業（28）
	5	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業（18）
	6	<input type="checkbox"/>	情報通信機器製造業（30）
	7	<input type="checkbox"/>	輸送用機器製造業（31）
	8	<input type="checkbox"/>	繊維工業製造業（11）
	9	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
非製造業	10	<input type="checkbox"/>	情報通信業（37～41）
	11	<input type="checkbox"/>	卸売業・小売業（50～61）
	12	<input type="checkbox"/>	サービス業（71～80、86～96）
	13	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

※（ ）内は日本標準産業分類番号

(2) 具体的な製品名やサービスの内容をご記入ください。

--

ありがとうございました。返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号・28（本）24

平成28年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成29年4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10
TEL：03-5530-2111（代表）
FAX：03-5530-2765
URL：<https://www.iri-tokyo.jp/>



古紙ハルブ配合率80%再生紙を使用

